

平成17年度秋田県病院事業会計決算審査意見書

第1 審査の方法

平成17年度病院事業会計（脳血管研究センタ - 及びリハビリテ - ション・精神医療センタ - ）の決算審査に当たっては、事業が経済性や公共性に配慮して運営されているか、決算書類が事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかなどについて、決算書類及び附属書類を調査し、関係者の説明を求め、計数の分析を行うとともに、定期監査と例月出納検査の結果も参考にした。

第2 審査の結果及び意見

1 決算書類について

審査に付された決算書類は、その調製手続き及び計数に誤りがなく、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示していることを確認した。

2 経営状況について

（1）経営成績について

平成17年度の経営成績は、収益総額76億5,612万円、費用総額74億8,637万円で、差し引き1億6,975万円の純利益となっており、前年度に比べて純利益が1,308万円（8.3%）増加している。

純利益が増加した要因は、一般会計補助金が6,894万円（1.9%）減少したものの、医業収益で8,317万円（2.2%）増加したことなどによるものである。

（2）財政状態について

平成17年度末の財政状態は、資産総額209億2,390万円、負債総額4億6,021万円、資本総額204億6,369万円となっている。

前年度末に比較して、資産総額が5億5,080万円（2.6%）減少し、負債総額は1,169万円（2.6%）増加しており、資本総額では5億6,249万円（2.7%）減少している。資本総額減少の要因は、借入資本金（企業債）が定期償還により7億3,418万円減少したことによるものであるが、純利益等の計上により、剰余金は前年度末に比べ2,469万円、自己資本金は減債積立金処分別相当分の組み入れなどに

より1億4,700万円それぞれ増加しており、財政基盤の安定性を表す自己資本構成比率は前年度に比べて1.5ポイント上昇し、財政状態は良好である。

また、流動資産4億1,180万円、流動負債4億6,021万円で、正味運転資本は、4億1,590万円と、前年度末より4億4,346万円(9.7%)減少しているが、支払能力を表す流動比率は、100%を大きく超えており、経営の安全性は保たれている。

3 留意改善を要する事項

診療費の自己負担に係る未収金については、「未収金取扱要領」を定め、督促、電話催告などにより回収に努めてはいるが、未収金額が年々増加しているので、新規未収の発生を防止するとともに、適切な債権管理による収納の推進に一層努める必要がある。

また、診療材料購入契約において、契約相手方の決定事務手続きに不適切な例が見られたので、法令等の規定を遵守し、適切な事務処理に努める必要がある。

両病院は、経営の健全化を推進するための「中期経営計画」(平成17年度から19年度までの3カ年)を実行しているが、脳血管研究センターにおいては、病院部門の的確な経営分析を行うためにも、引き続き病院部門と研究部門の会計区分を明らかにする手法の確立に努力されたい。

なお、今後、医療制度改革に伴う診療報酬の改定など、経営を取り巻く環境は一層厳しいものがあると考えられるので、経営基盤の強化に積極的に取り組まれ、両病院の専門的な医療機関としての機能を十分に発揮し、より一層県民医療の向上に貢献されることを期待するものである。